

# 第6学年〇組 学級活動（1）指導案

令和2年11月 〇日（〇）第〇校時  
活動場所 6年 〇組教室（在籍〇名）  
指導者 教諭 〇〇 〇〇

## 1 議題 「卒業文集のクラスページの内容を決めよう」

### 2 議題について

#### （1）児童の実態

本学級の児童は、男女共に仲がよく、雰囲気は明るい。互いを認め合い、助け合う姿もよく見かける。6年生としての自覚をもち、委員会活動など、学校のためにも積極的に仕事に取り組み、学級内でも当番活動や係活動など自分に与えられた仕事をしっかり果たすことができる児童が多い。

学級活動については、これまでに「6-〇ミニ運動会をしよう」や「1年生と交流会をしよう」などの議題で、計6回行ってきた。話し合い活動では、1つに決めることを優先してしまうために、意見が少なく話し合いに深まりがなくなってしまうことが課題として挙げられる。そこで、話し合いを深めてよりよいものにしていくことの大切さを指導し、議題や実践に対してのイメージを共有させることで、自分の思いや考えが表現できる児童とお互いに高め合うことのできる集団を目指している。

#### （2）議題選定の理由

本議題は、クラスとしての思い出が少しずつ増え、だんだんと卒業が近づいてきていることを実感し始めたこの時期に、卒業文集のクラスページをクラスのみんなで考え、よりよいものにしていきたいという願いから提案されたものである。他にも、「係活動を見直そう」や「2学期がんばったね会をしよう」などの提案もあった。議題についてオリエンテーションを行い、学級で検討した結果、卒業文集の作成の準備に早めに取りかかり、計画的に作成していきたいということやスポーツ大会や修学旅行などの大きな行事が終わったこのタイミングでクラスページの内容を考えたいという児童の強い願いがあり、本議題が選定された。

### 3 研究主題との関わり

#### （1）研究主題

## 自分も相手も大切にできる児童の育成

～「自分もよくみんなもよいこと」を話し合う学級活動（1）を通して～

#### （2）目指す児童像

- ・話し合いを通して合意形成を図り、協力して準備・実践し、成長を実感できる子
- ・自分のよさに気づき、相手のよさを認め、伝え合える子

#### （3）目指す児童像に近づくための手立て

##### ①的確な教師の助言や支援

- ・学級会ノートに書いた意見を事前に目を通し、より提案理由に迫る意見へと深めるよう、助言をしたり、励ましのコメントを入れて自信をもって発言できるようにしたりする。
- ・計画委員とともに、挙げた意見を予め、内容毎に分類しておき、円滑に学級会を進められるようにする。

②意見が対立したとき、意見をまとめるときの合意形成の図り方

- ・合意形成の例示「こんなときどうする!？」を活用し、意見をまとめるときの発言の参考とさせる。
- ・反対の意見の理由に注目させ、解消できるような話し合いになるよう助言する。

③事後の活動まで見通した「段取る」力の育成

- ・実践活動までの期間や行事等を記したカレンダーを掲示し、準備期間についてのイメージの共有化を図る。
- ・実践活動のプログラムを掲示し、実際の実践活動の流れや時間等を意識して、話し合いが進められるようにする。

4 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	児童の活動 ○計画委員会●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
11月9日 (月) 朝の時間	○議題の選定をする。	・提案理由を明らかにさせる。 ・学級生活の充実や現在のクラスの議題に適しているのかを考えさせる。	◎楽しく豊かな学級生活をつくるために、議題を選定しようとしている。 【主体的に取り組む態度】(観察)
11月10日 (火) 朝の会	●議題の決定をする。	・計画委員の提案を基に全員で決定する。	
11月11日 (水) 20分休み	○活動計画を作成し、学級会コーナーに記入する。	・提案理由に沿っためあてが考えられるようにする。 ・みんなが納得できる提案理由になるように提案者に指導する。	
11月12日 (木) 朝の時間	●学級会ノートを記入する。	・提案理由に沿った意見が考えられるように助言する。 ・決まっていることについて全員が共通理解できるようにする。	◎クラスのことや思い出を振り返られるようなクラスページの内容を学級会ノートに書くことができる。 【思考・判断・表現】(学級会ノート)

11月12日 (木) 昼休み	○学級会ノートを見て意見をまとめる。	・柱①の絞った意見は、短冊にまとめておくように助言する。	
11月16日 (月) 朝の時間	○リハーサルをする。	・スムーズに会が進められるように助言する。	

6 展開

(1) 本時のねらい

クラスの思い出が残り、いつでも振り返られるようなクラスページの内容について考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第7回 六年〇組 学級会活動計画 11月〇日(水)

議題	卒業文集のクラスページの内容を決めよう		
提案者			
提案理由	少しずつ卒業式が近づいてきました。今年はコロナウイルスで色々な行事がなくなってしまうか、〇〇会をたくさんしたスポーツ大会では全員リレーになれたけれど、みんなの思い出が残り、いつでも振り返られるようなクラスページの内容を決めたいです。そのためには、みんなの思いを大切にし、みんなの思いが伝わるようにしたいです。そのためには、みんなの思いを大切にし、みんなの思いが伝わるようにしたいです。		
話し合いのめあて	大切な思い出がいつまでも残り、振り返ることができるクラスページを作れるような話し合いをしよう。		
役割	司会	黒板記録	ノート記録
決まっていること	①プロフィールを見聞き2ページで入れる ②プロフィール以外で4ページか決める ③作成期間1週間		
話し合いの順序	気をつけること	時間等	
①始めの言葉	大きな声ではっきりと言う。	} 5分	
②計画委員の紹介	役割、名前、めあてをはっきりと言う。		
③議題の確認	みんなに関心する声で、しっかり確認する。		
④提案理由	提案者の思いがみんなに伝わるようにする。		
⑤決まっていることの確認	みんなに関心する声で言う。		
⑥話し合い			
<話し合うこと①>			
クラスページの内容	出された意見はできるだけ生かせるようにして、くらべあいの所から話し合う。 スムーズに話し合いを進められるようにする。	① 20分	
<話し合うこと②>			
表紙に何を書くか	柱1クラスページの内容で決まったことも考えて話し合いを進める。 みんなが意見を言えるようにする。	② 15分	
<話し合うこと③>			
⑦決まったことの確認	みんなに関心する声で言う。	} 5分	
⑧振り返り	めあてを達成できたか考える。		
⑨先生の話	静かに先生の方を向く。		
⑩終わりの言葉	大きな声ではっきりと言う。		

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 計画委員の紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由の確認</p> <p>5 決まっていることの確認</p> <p>6 めあての確認</p> <p>7 話し合い 話し合うこと① 「クラスページの内容」 話し合うこと② 「表紙に何を書くか」</p> <p>8 決まったことの確認</p> <p>9 振り返り</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。</li> <li>・ 自分の役割を意識したためあてをもち、紹介に臨めるように事前に指導する。</li> <li>・ 提案者の思いや願いを深め、学級全員の問題であることがわかるようにする。</li> <li>・ プロフィールで決まっていること、クラスページは4ページ決めることを再度確認する。</li> <li>・ 話し合うこと①は「比べ合う」段階から進められるよう、事前に短冊を準備しておき、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。</li> <li>・ 決まったページの内容については、その都度掲示して視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・ 提案理由を意識した発言や理由が明確な意見を日頃から称賛し、話し合いの際に意識できるように指導しておく。</li> <li>・ 少数意見大切に、少数意見であっても発言の機会を与えたり、了承をとったりしてから決定する。</li> <li>・ 時間を意識して話し合いが行われるようにする。</li> <li>・ 表紙の内容については、ホワイトボードに書き入れながら視覚的に共通理解できるようにする。</li> <li>・ 決まったことを自分の言葉でみんなに伝えられるように指導しておく。</li> <li>・ 話し合いを振り返り、自己評価するとともに、学級や友達のよかった点についても認められるように助言する。</li> <li>・ 集団決定できたことへの称賛、前回からの成長点についての称賛、今後の課題、計画委員へのねぎらい、今後の見通しや実践に向けての意欲付けなどについて簡潔に述べる。</li> </ul>	<p>◎友達意見を参考にしながら、折衷案を考えて発言したり、みんなの共感を得られるような改善案を出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)</p> <p>◎前回までの話し合いの経験を生かして合意形成を図るための話し合いの進め方や約束を理解している。</p> <p>【知識・技能】(観察)</p>

## 7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
12月1日 (火)～25 日(金)	・クラスページを作成する。	・話し合いで決まった役割の中で全員が仕事を持てるよう声かけをする。	◎卒業文集のクラスページを作成する目的を意識して、友だちと協力して取り組んでいる。 【思考・判断・表現】(観察)
12月28日 (月)	・一連の活動を振り返る。	・自分の態度を振り返るとともにめあてに基づいた振り返りを行い、自分の役割を果たすことや友だちのよかったところについても認められるようにする。	◎卒業文集のクラスページの成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 【主体的に取り組む態度】 (学級会ノート・観察)